

研究課題名 自己採取 HPV 検体の郵送環境を想定した温度安定性の検討

■ 研究の背景と目的

現在、子宮頸がんの早期発見の手段として HPV (ヒトパピローマウイルス) 検査が重視されています。また、より多くの方が気軽に受診できるよう、自己採取による HPV 検査を郵送で提出する方法が注目されています。しかし、郵送中の高温環境 (特に夏季) によって検体の品質に影響が出る可能性があります。本研究の目的は、高温環境の検査結果への影響の有無を明らかにすることです。

この研究は、ちば県民保健予防財団 (以下、財団) の倫理審査委員会で審査され、同財団理事長の承認のもと実施されます。

■ 研究の方法

婦人科外来を受診された患者様のうち、HPV 検査で陽性と判定された方から、医師による研究説明と研究参加への文書同意を得た上で検体を使用します。研究用として採取した検体については、研究開始時に改めて HPV 検査を実施し、HPV 陰性であった場合は本研究の対象から除外します。研究対象となった検体は、異なる温度条件 (4°C、30°C、50°C) で一定期間 (1 日、3 日、1 週間、2 週間、3 週間) 保存した後、検査機器で測定し評価します。

■ 個人情報等の取り扱い

本研究で用いる検体は、検体採取後 3 日間、個人を識別可能な情報を付した状態で適切に管理・保存する。その後、3 日経過時点で複数名の検体をプール検体とし、この時点で氏名、診療番号等の個人情報を削除し、いかなる個人も特定できない状態としたうえで保管する。研究結果に研究対象者の個人情報が外部に漏れることはありません。

■ 同意撤回の自由

研究への参加に同意いただいた場合でも、同意いただいた日から 3 日以内であれば同意を撤回することができます。同意を撤回されても、不利益を被ることは一切ありません。

■ 研究責任者とお問い合わせについて

公益財団法人ちば県民保健予防財団 検査部一般検査課長 岡 馨 (おかおる) が研究責任者です。

お問い合わせ先：公益財団法人ちば県民保健予防財団 検査部一般検査課 細菌室 岡田 奈生 Tel: 043-246-8606 (代表)